

令和7年度

自己点検・評価書
(学校評価報告書)

附属平野中学校

1 附属平野中学校の現況

(1) 学校名

大阪教育大学附属平野中学校

(2) 所在地

大阪府大阪市平野区流町2丁目1番24号

(3) 学級数・収容定員

9学級(1学年3学級) 収容定員324人(1学級36人)

(4) 幼児・児童・生徒数

321人(男子140人・女子181人)

(5) 教職員数

校長(併任) 1人, 副校長 1人, 主幹教諭 1人, 指導教諭 1人, 教諭 16人(うち, 臨時的雇用4人, 再雇用職員0人), 非常勤講師 13人

事務補佐員 5人、(うち併任1人) <図書館司書1人>、用務員2人(うち併任1人)

2 附属平野中学校の特徴

「行事で育つ附中生」と言われるように、全生徒が学校行事に全力、真剣に取り組む。毎年の文化祭のクラス劇や2年で実施する臨海学舎では、生徒の大きな成長がみられる。また、大阪教育大学との連携は深く、附幼・附小・附高・附特支が一地域にあることを活かした教育研究を推進している。

3 附属平野中学校の役割

- (1) 大学と一体となって、教育の理論と実際に関する研究並びにその実証を行う任務
- (2) 大学学生の教育の実地研究を行う任務
- (3) 他の学校との研究の交流を行い、提携して教育の振興に努める任務

4 附属平野中学校の学校教育目標

- (1) 物事を合理的、科学的に探究し、豊かな創造性をもつ人間
- (2) 集団の規律を育て、情操豊かで、実践的意志力をもつ人間
- (3) 自他の生命を尊重し、心身を鍛え、健康の維持増進に努める人間

5 附属平野中学校の学校教育計画

- (1) 「探究のトピラをひらく教科の学び」(研究テーマ)に基づいた教育研究
 - ① 探究学習(総合的な学習の時間)と各教科の学びを接続し、主体的に学ぶ授業づくりを実践する。
 - ② 「基礎学力の定着」と「創造性の伸張」のバランスのとれた授業づくり

③状況に応じて遅しく学ぶ授業の設計

(2)安全で、安心して過ごせる教育環境の整備

①教職員全員で危機管理・危機対応に向かう

②子どもの変化を見取り、子どもの悩みに答える

③安全で清潔な学習環境を整える

(3)健やかな身体と豊かなこころを育む教育活動の充実

①臨海学舎・体育的行事・学校保健・保健体育教育を通じて健やかな身体の基礎を育てる

②学校行事・生徒会活動・係活動を通じて社会性を育てる

③道徳教育・進路学習を充実し、豊かなこころを育み自分の生き方を考える

6 附属平野中学校の令和7年度 重点目標(評価項目), 具体的な取組内容(評価指標)・評価結果

評価の基準

自己評価		学校関係者評価	
A	高いレベルで達成できた	A	とても適切である
B	達成できた	B	おおむね適切である
C	一部達成できなかった	C	あまり適切でない
D	ほとんど達成できなかった	D	適切でない
		E	判定できない

学校教育目標	(1)物事を合理的、科学的に探究し、豊かな創造性をもつ人間 (2)集団の規律を育て、情操豊かで、実践的意志力をもつ人間 (3)自他の生命を尊重し、心身を鍛え、健康の維持増進に努める人間
学校教育計画	(1)「探究のトピラをひらく教科の学び」(研究テーマ)に基づいた教育研究 (2)安全で、安心して過ごせる教育環境の整備 (3)健やかな身体と豊かなこころを育む教育活動の充実

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
(1)「探究のトピラをひらく教科の学び」(研究テーマ)に基づいた教育研究	①探究学習(総合的な学習の時間)と各教科の学びを接続し、主体的に学ぶ授業づくりを実践する。	・各教科は探究の要素を取り入れた実践を意識した授業づくりに、年間を通じて取り組むことができた。 ・行事等の取り組みを題材とした各教科の探究的な授業を実施し発表した。	・教科ごとの研究成果には差異があり、学校全体としての研究をより推進する必要がある。 ・研究成果の客観的な分析を行う必要がある。	B	・取り組みの質の向上と、地域と連携し広める取り組みをもう少し進めてほしい。 ・研究成果と分析を、論文や出版物として出すのはどうか。	B	・次年度が本テーマ2年目であり、各教科の研究をさらに深化させる。 ・地域の課題を題材にするなど地域との連携を模索する。
	②「基礎学力の定着」と「創造性の伸長のバランスのとれた授業づくり	・総合的な学習の時間(JOIN・STEP)について、探究活動の質を意識した活動ができた。オンラインサロンを開催して、実践手法を広めることができた。 ・放課後学習の廃止による基礎学力の定着不足は分析が必要である。	・JOIN(2・3年)、STEP(1年)を統合し、縦割りグループの活用や教職員の参加人数を増加させる。出前講師やオンラインサロンを活用し、一層平野のJOINを広め地域の拠点校を目指す。	A	・JOIN・STEPはさらに地域の事業所や区役所、取り組みと繋げられないだろうか。 ・生徒の実情に即した学習が必要。放課後学習に代わる学力向上の方策はないか。	A	・特にSTEPについては防災を通じて地域と繋がる可能性があり、前向きに検討する。 ・放課後学習の廃止に代わって、個々の授業の質を高める努力を一層高める。
	③状況に応じて遅く学ぶ授業の設計	・端末の活用は、各教科で進めた。 ・インフルエンザ等の閉鎖に対応したカリキュラム設定が課題である。	・機器の管理(破損)における課題を解決したい。 ・年間計画の見直しが必要。	B	・よく努力されているが、活用と学力の整合性については引き続き検討してほしい。	A	・端末を活用した授業について、校内研修を行うなど、さらに実践を強化していく。

(2) 安全で、安心して過ごせる教育環境の整備	①教職員全員で危機管理・危機対応に向かう	<ul style="list-style-type: none"> ・大和川氾濫想定防災訓練、不審者等防犯訓練、および水泳事故緊急通報訓練を実施した。 ・平野五校園が平野区との防災協定を結び、年度末にはセーフティプロモーションスクールの認定を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平野区と連携しながらセーフティプロモーションスクールの実践を行う。第1段階として、「災害安全」を中心に普段の取り組みや訓練について見直していく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・平野区との連携は非常に楽しみである。五校園が一体となって地域防災・安全の中心になって欲しい。 ・訓練が価値あるものとなるよう、計画的に実施してほしい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・セーフティプロモーションスクールの第1段階を進める。 ・各種訓練は計画全体を見直し、分掌内でもシミュレーションを重ね、実効性のある訓練を実施できるようにしたい。
	②子どもの変化を見取り、子どもの悩みに答える	<ul style="list-style-type: none"> ・Q-U 検査を実施し、学級集団の実態の把握に努めた。 ・学年での打ち合わせを入念に行い、情報の共有に努めた。 ・特に3年生はQ-Uの回数が少なく、カウンセリングも進路相談が主なため、カウンセリングの時期や回数を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Q-U 検査が十分に活かしきれていないので、分析方法の校内研修を実施する。 ・学年内の課題を全体で共有する機会を職員会議以外で定期的に設置する。 ・カウンセリングの回数を学期に1回となるように増設する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みは妥当であると考えてるので、引き続き、子どもの状況を把握し、問題の解決に努めてほしい。 ・生徒の課題にしっかりと向き合えるように、教員の研修を行って欲しい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学年だけでなく学校全体で問題点を共有する機会を設定するように努めるため、職員会議以外にも情報共有の場を設定したい。 ・カウンセリングの増設と、常設のいじめ対策組織の活発化を推進する。
	③安全で清潔な学習環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> ・教室等の環境美化は実現できた。 ・施設の老朽化により様々な箇所の修繕が遅れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員、生徒の協力を深める。 ・学習環境に悪影響がないように計画的に修理を進める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境の維持のために無駄遣いを減らすなどの工夫が必要ではないか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品の管理で無駄遣いを減らし、学習環境の維持のために努力する。
(3) 健やかな身体と豊かな心を育む教育活動の充実	①臨海学舎・体育的行事・学校保健・保健体育教育を通じて健やかな身体を育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もすべての行事において、事故も無く、安全に実施することができた。生徒の成長、変容があり、教育効果も非常に高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施場を変更した臨海学舎については、宿舍の快適性課題あり、次年度は変更を検討している。 ・体育祭、文化祭の実施時期の検討 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設(アリーナ)のエアコン化は喫緊の課題である。体育的行事は危険の無い範囲で実施してほしい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の体育祭は6月開催から5月開催に切り替え、熱中症対策をさらに進める。 ・臨海学舎の宿舍の変更。
	②学校行事・生徒会活動・係活動を通じて社会性を育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭、文化祭は熱中症の危険性があり、様々な対策の工夫を続けたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事で育つ附中生を伝統として続け、安全で持続可能な学校行事となるように、課題意識を持つ必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、生徒も教員もよく考えて行事を実施してくれている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の文化祭は9月開催から10月開催に切り替え、熱中症対策をさらに進める。
	③道徳教育・進路学習を充実し、豊かな心を育み自分の生き方を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で質の高い道徳授業づくりに取り組む事ができた。 ・各学年道徳担当の定期的な打ち合わせによる連携が成果を発揮した。 ・実施回数については課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳担当の連携を維持しつつ、回数の確保や質の向上を目指す。 ・生徒の自己実現に向けて、進路学習(進路指導)の時間の増設を検討する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育は引き続きしっかり行ってほしい。 ・進路学習を1年次からもっと行うべきではないか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育は各学年で回数含め質の高い授業を目指す。 ・生徒の実態に即した進路学習の時期、内容を検討する。

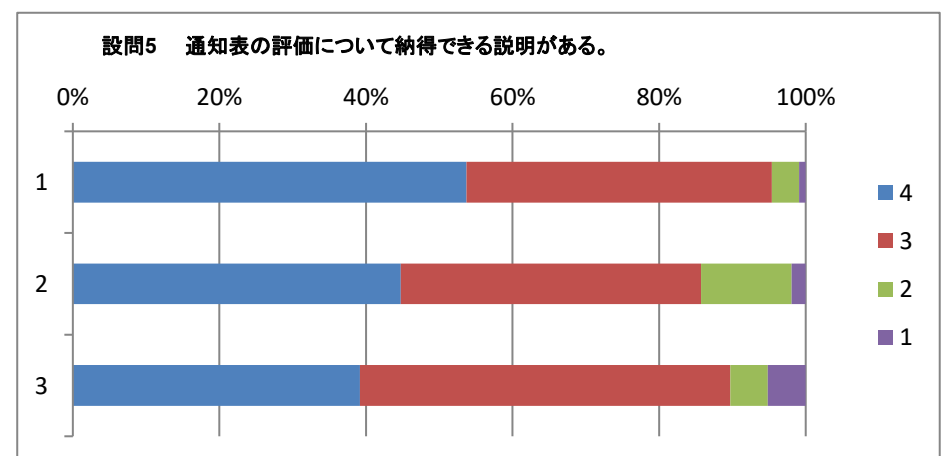
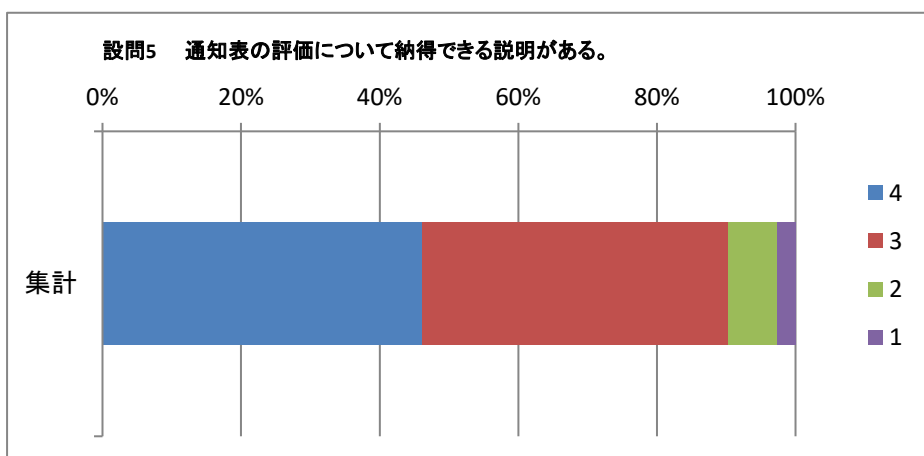
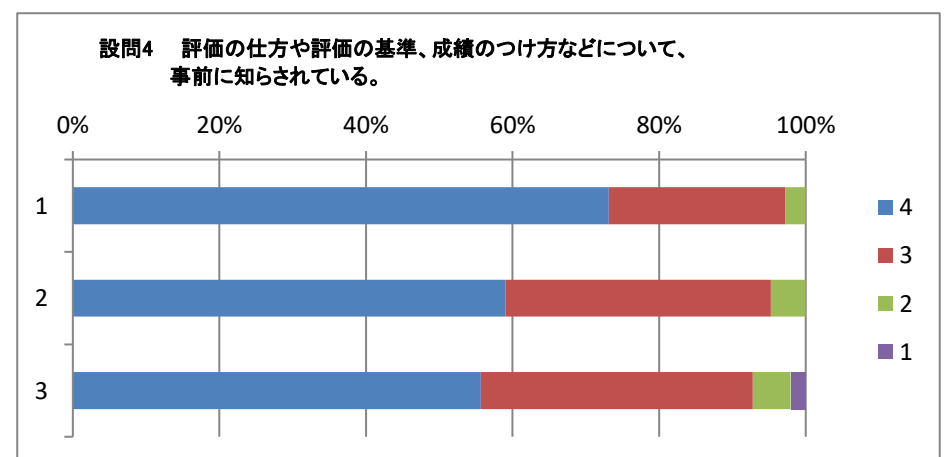
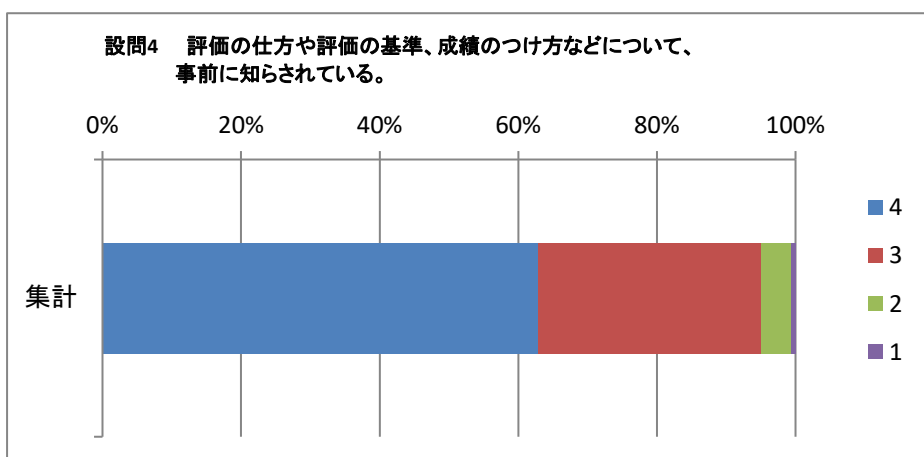
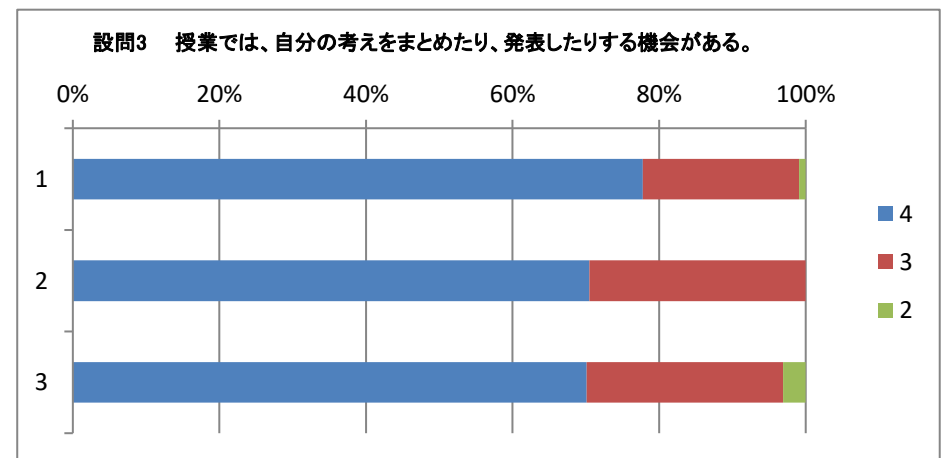
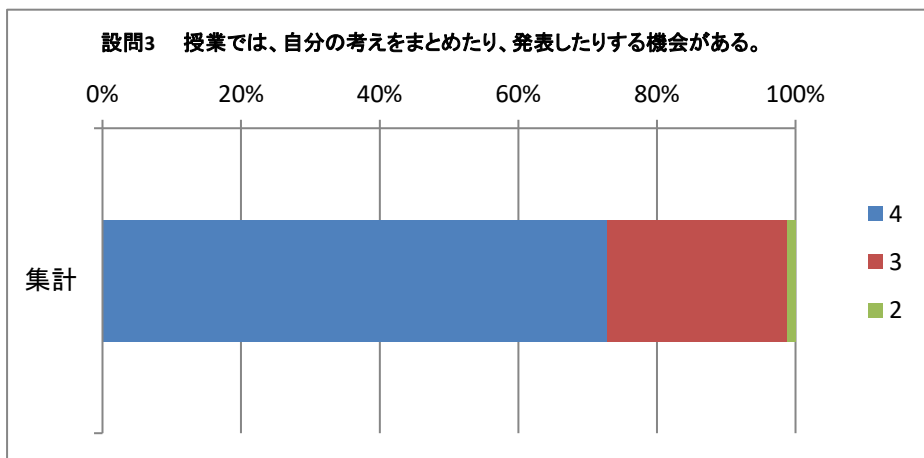
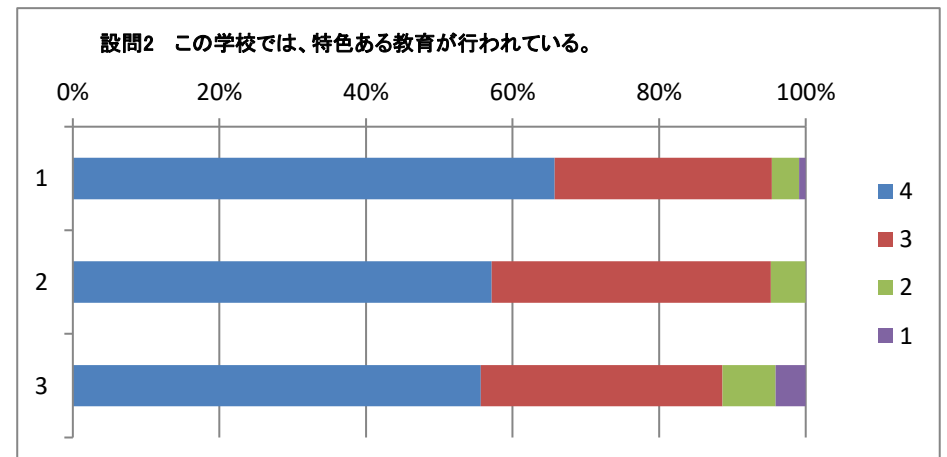
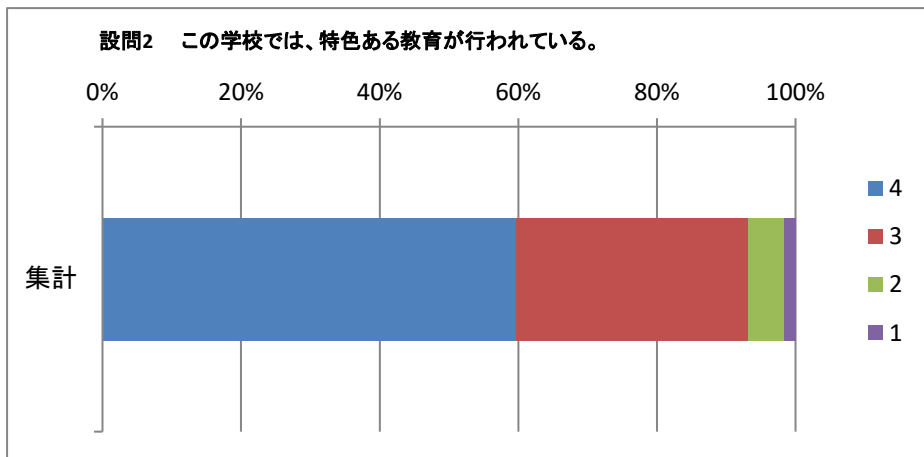
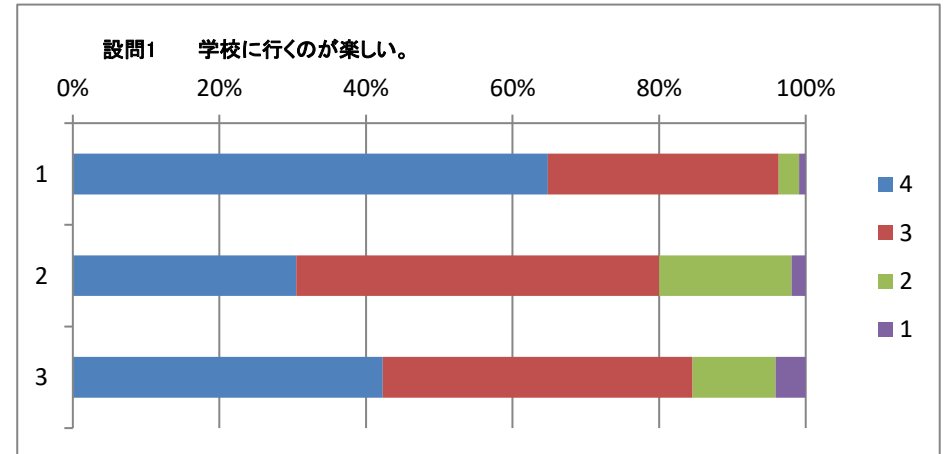
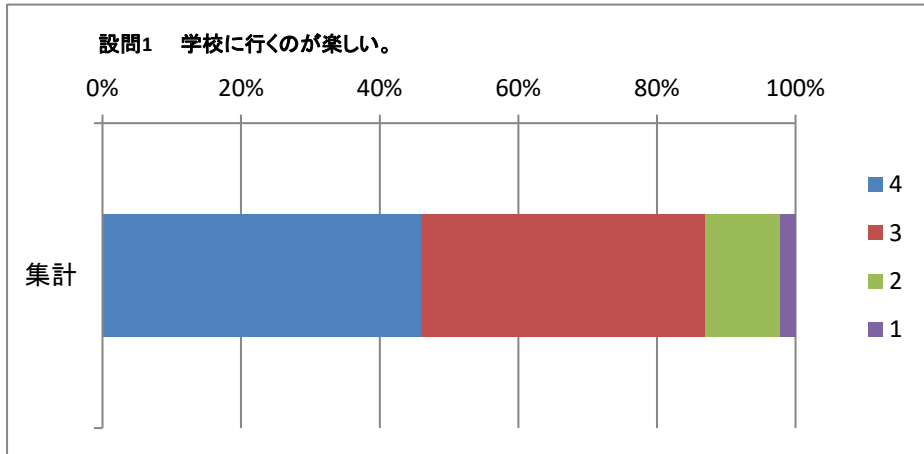
令和7年度 生徒対象 学校診断アンケート結果 R7.12実施

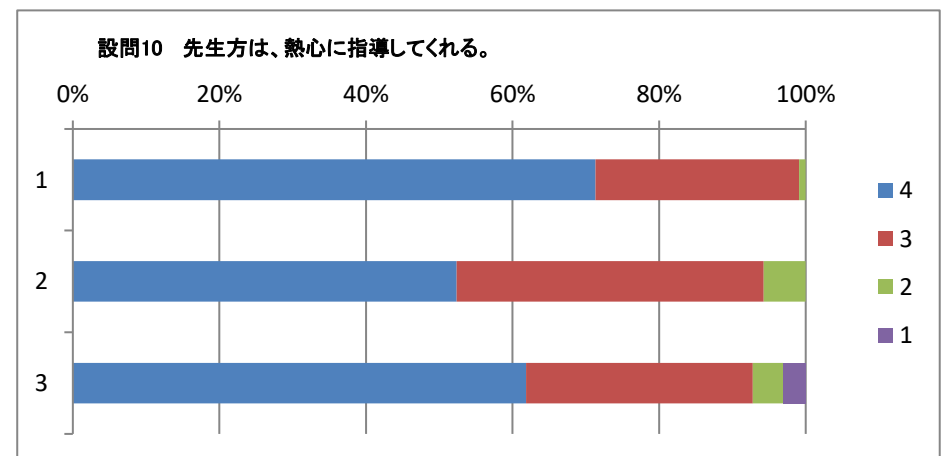
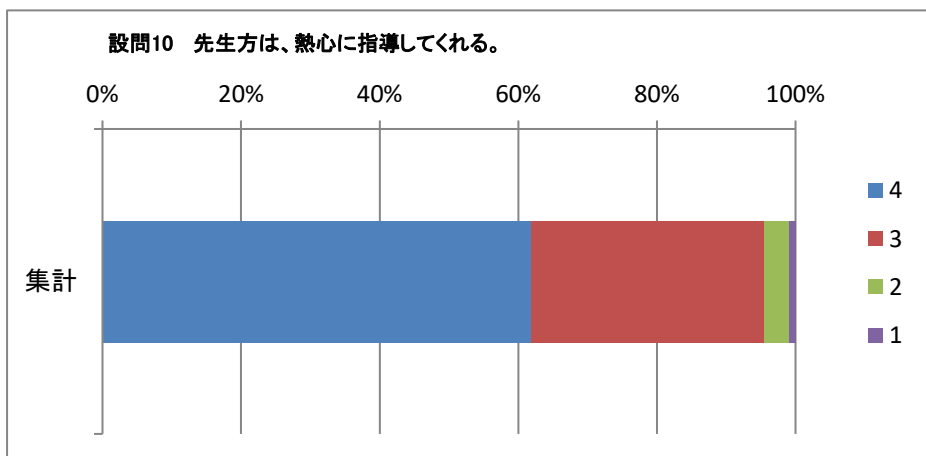
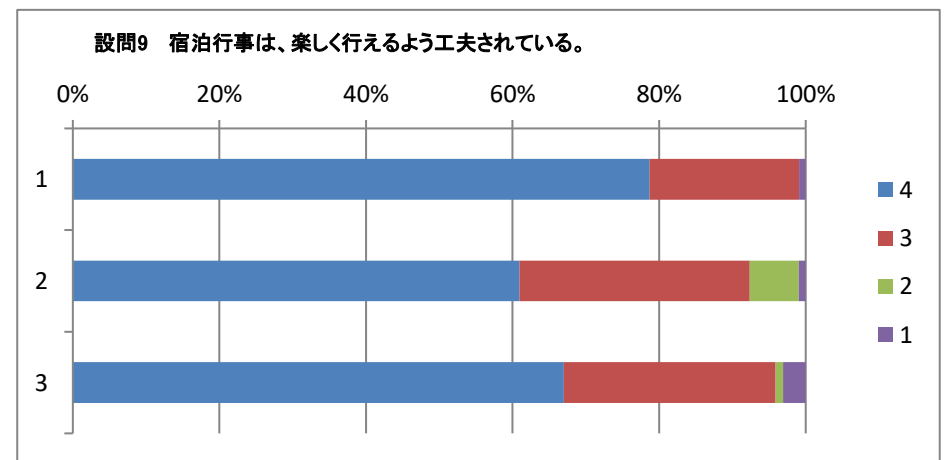
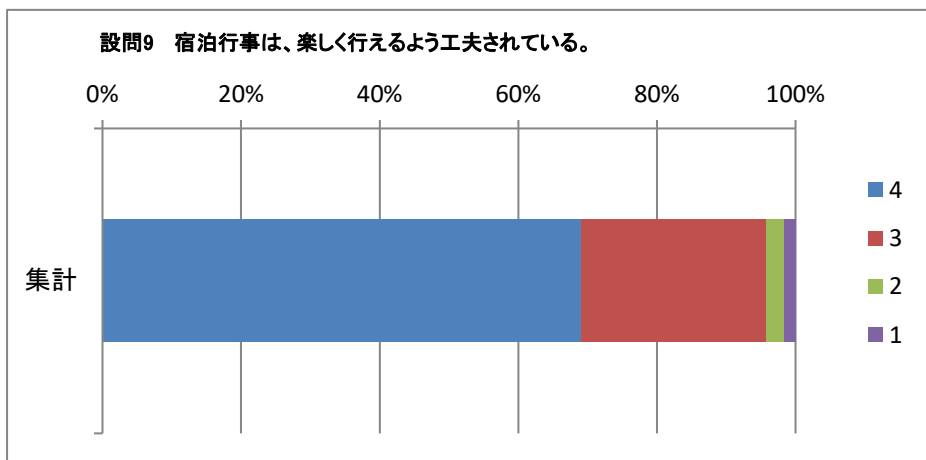
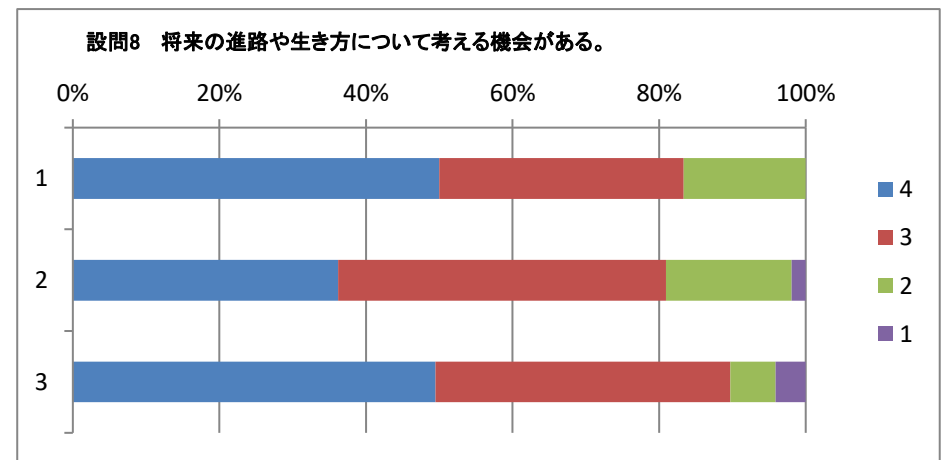
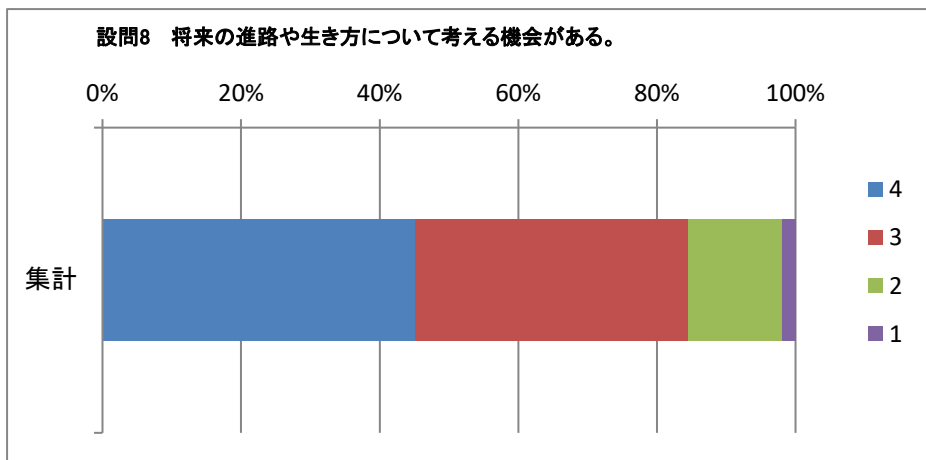
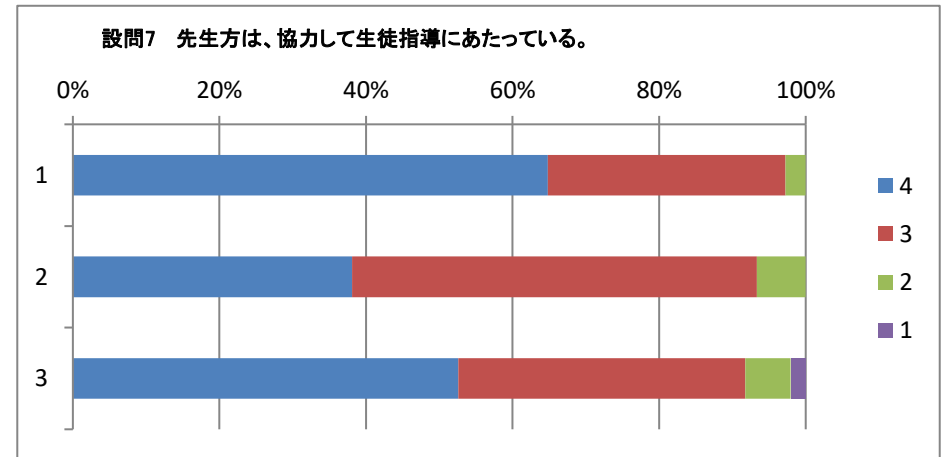
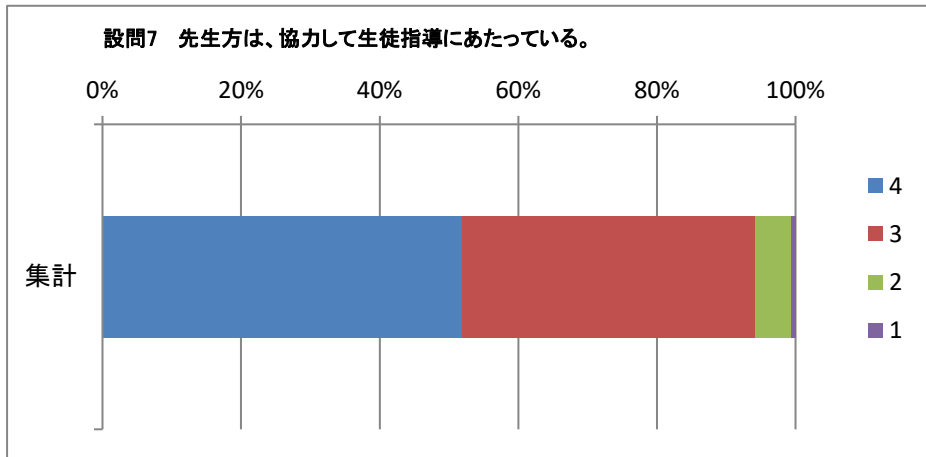
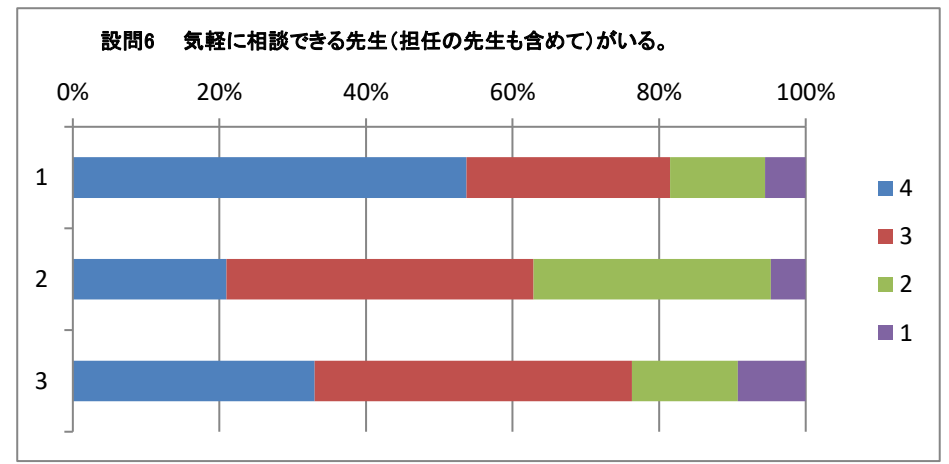
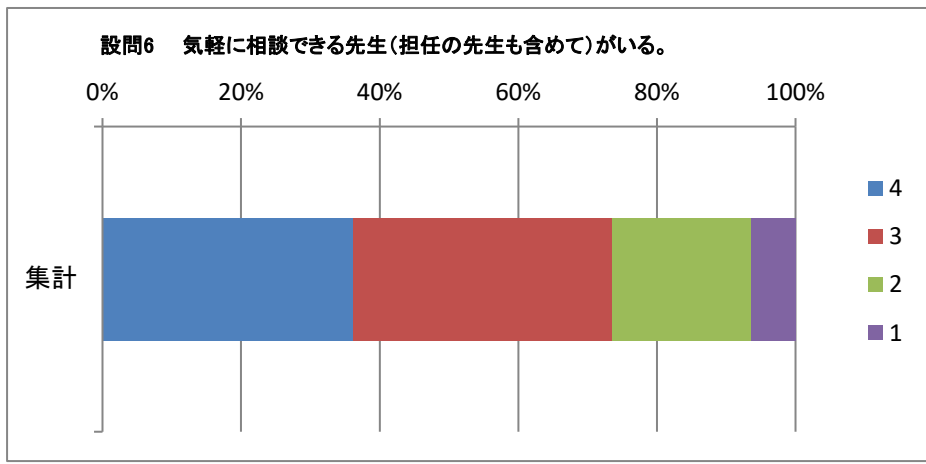
- 4 ■ とてもあてはまる
- 3 ■ 少しあてはまる
- 2 ■ あまりあてはまらない
- 1 ■ あてはまらない

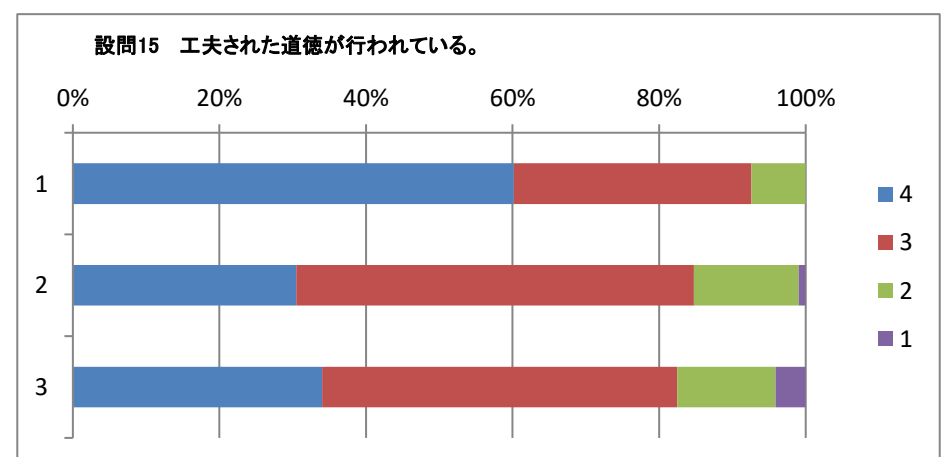
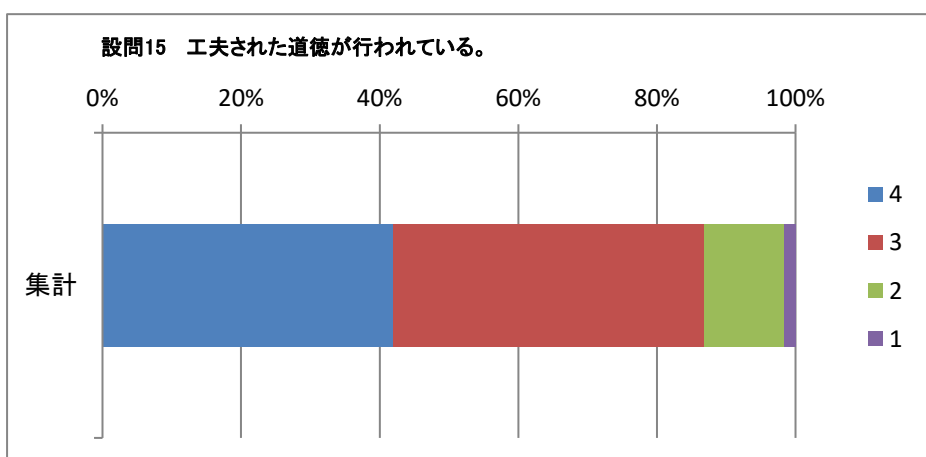
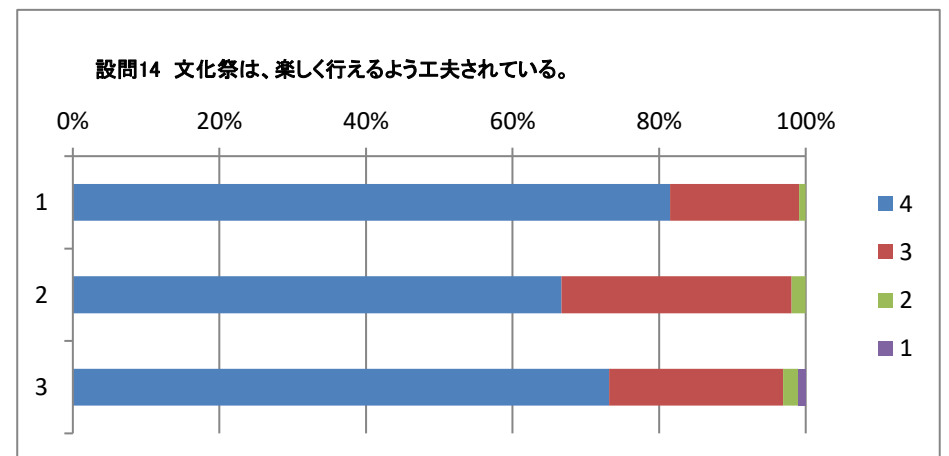
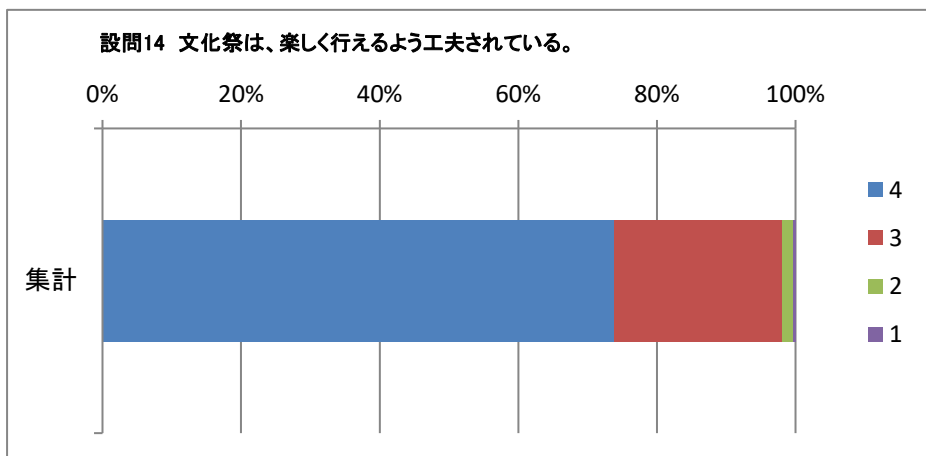
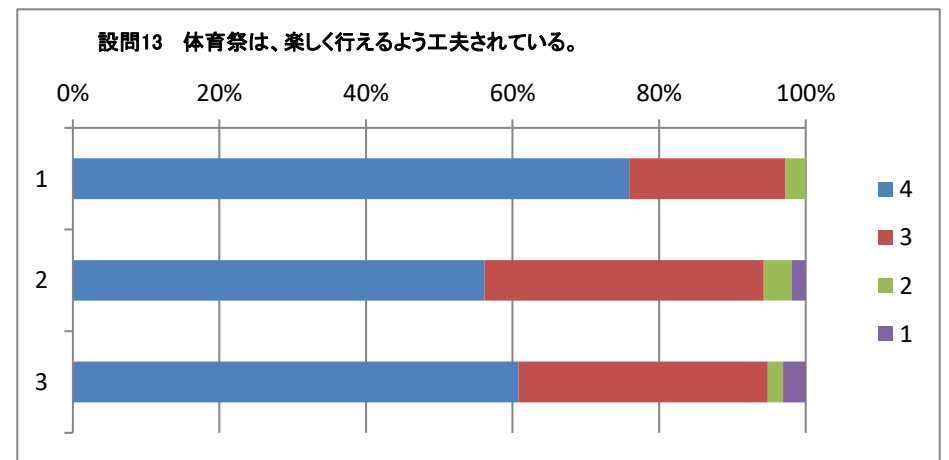
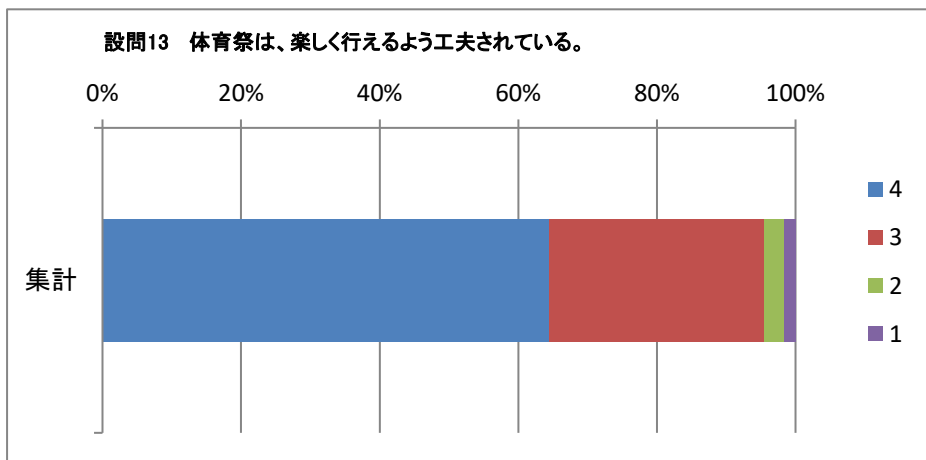
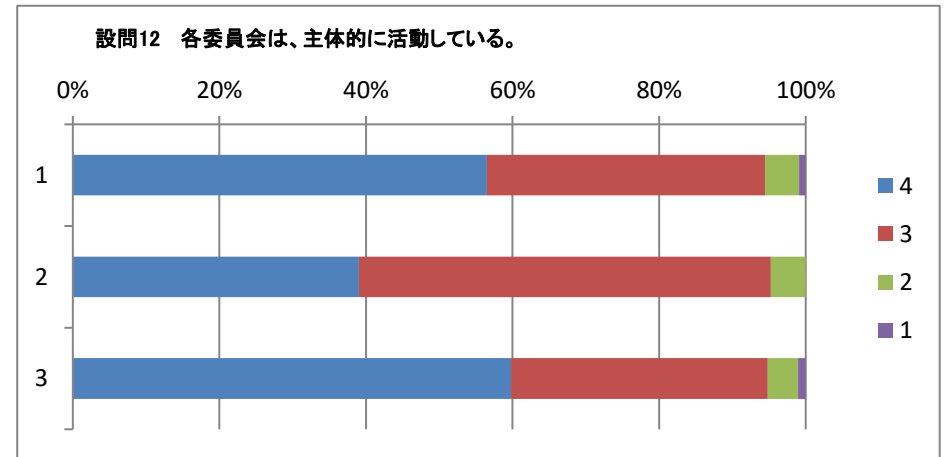
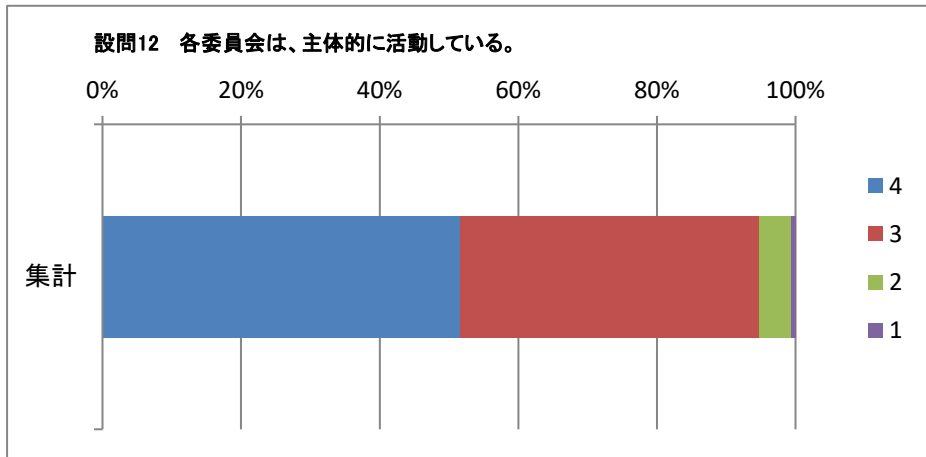
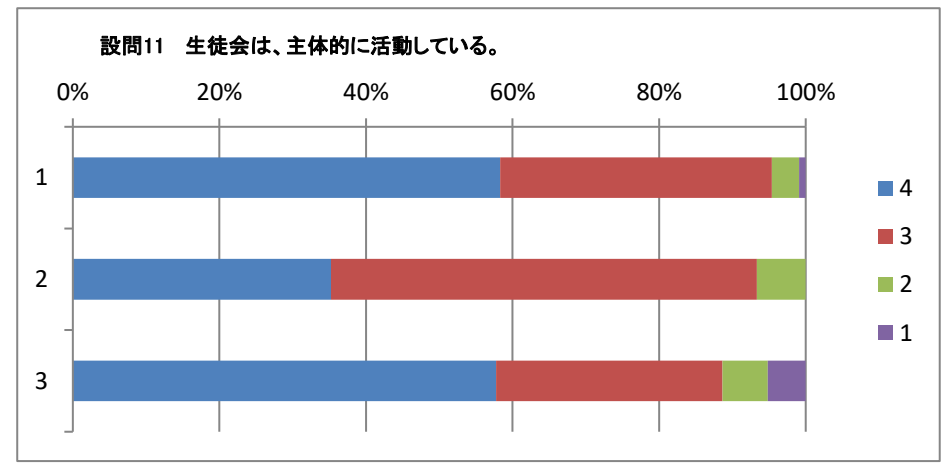
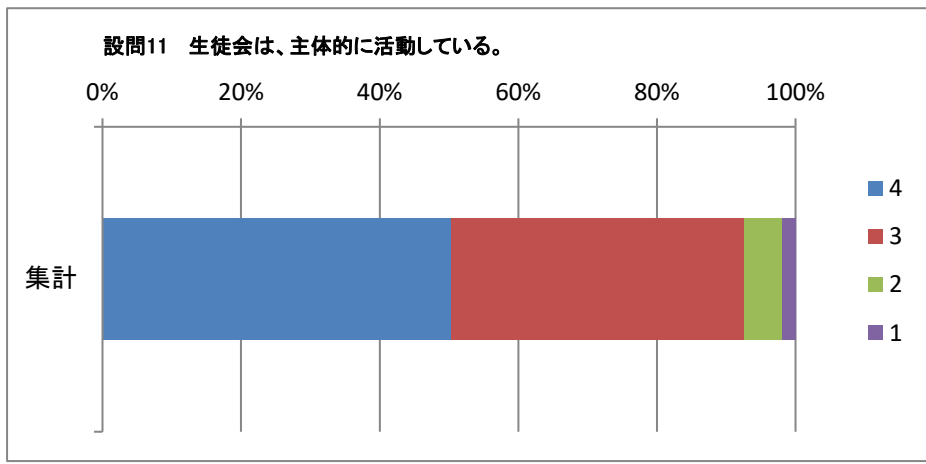
学年	在籍数	回答数
1年	108	108
2年	108	105
3年	105	97
合計	321	310

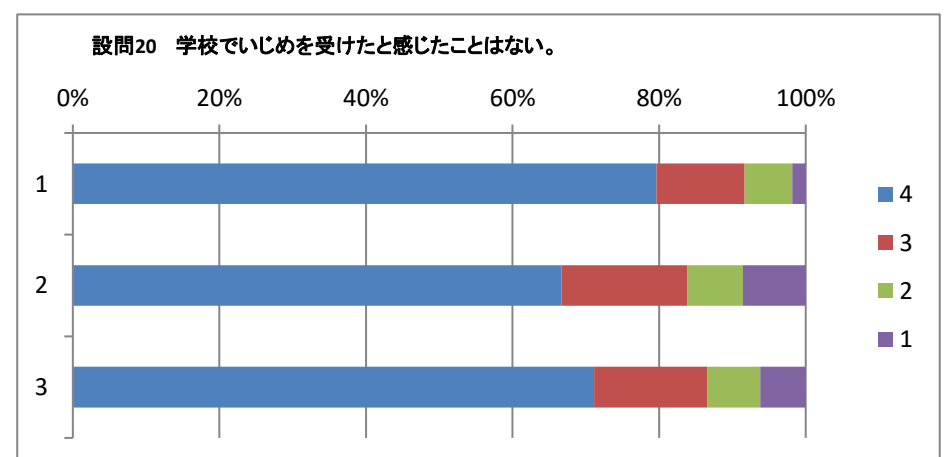
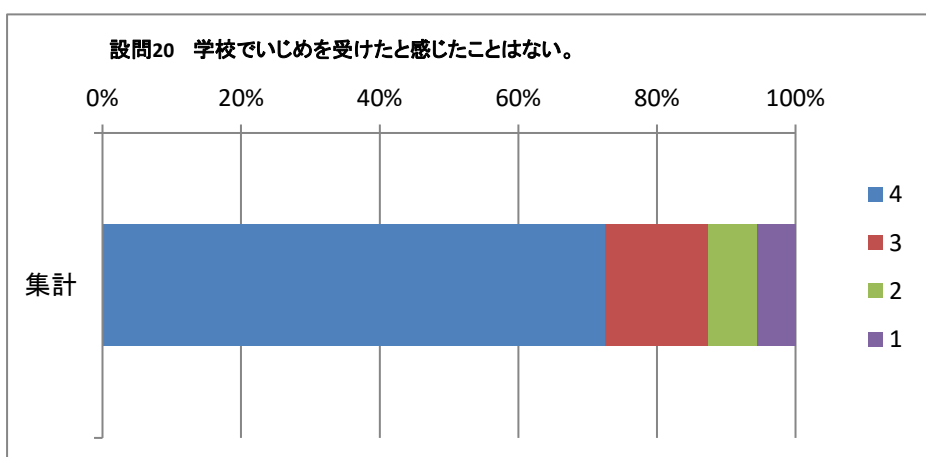
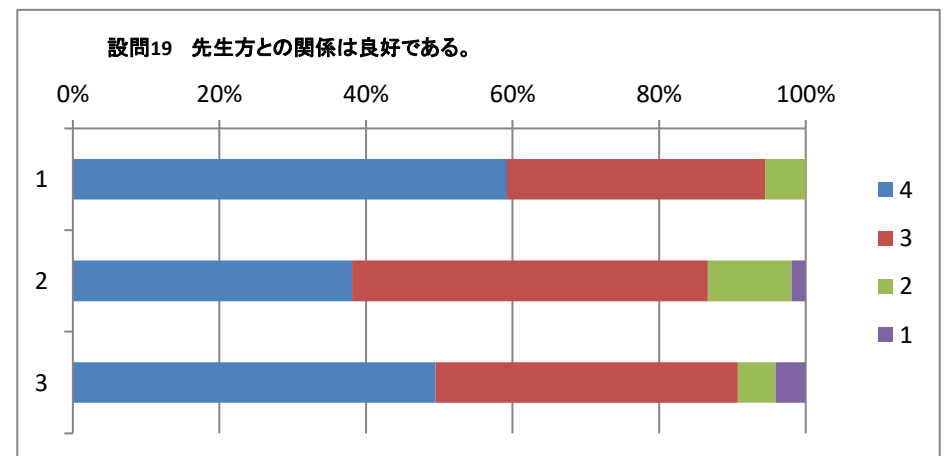
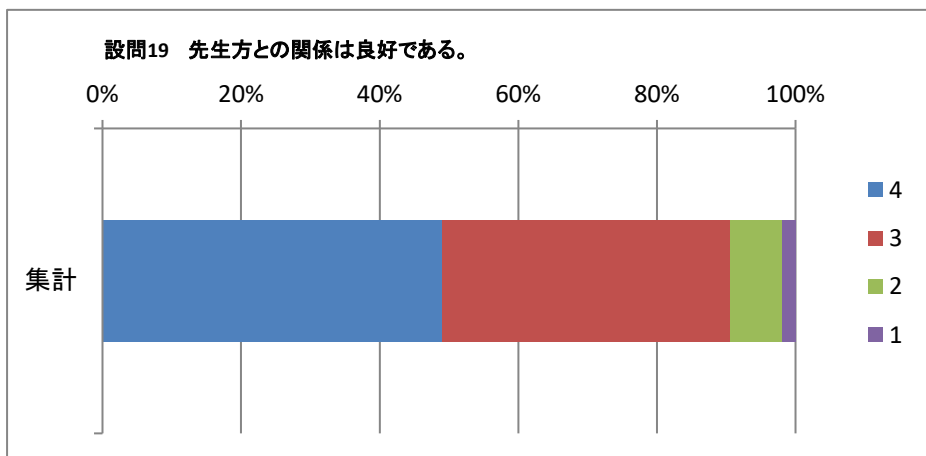
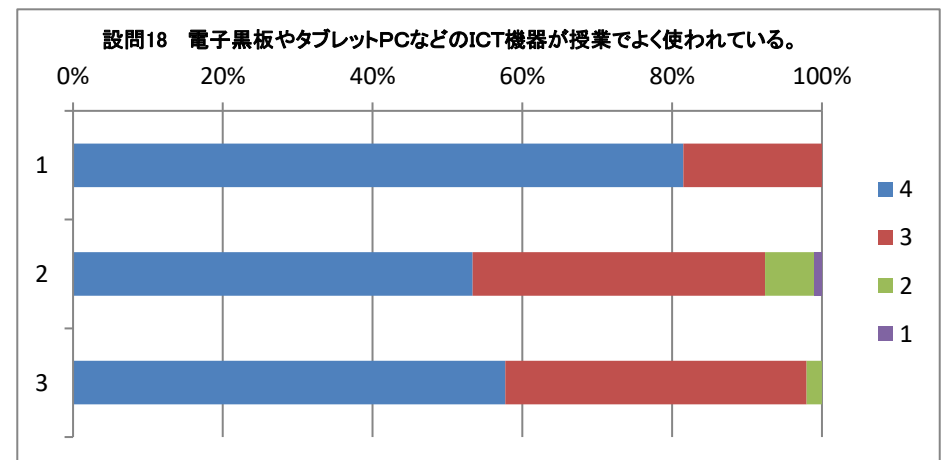
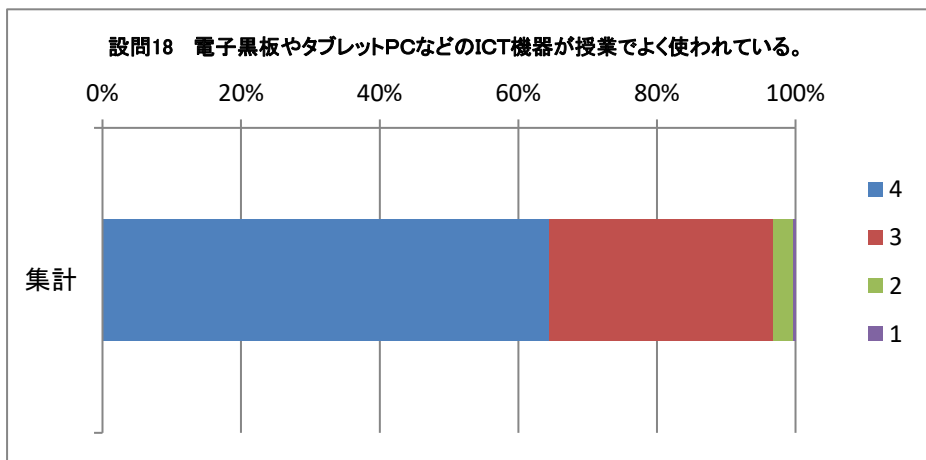
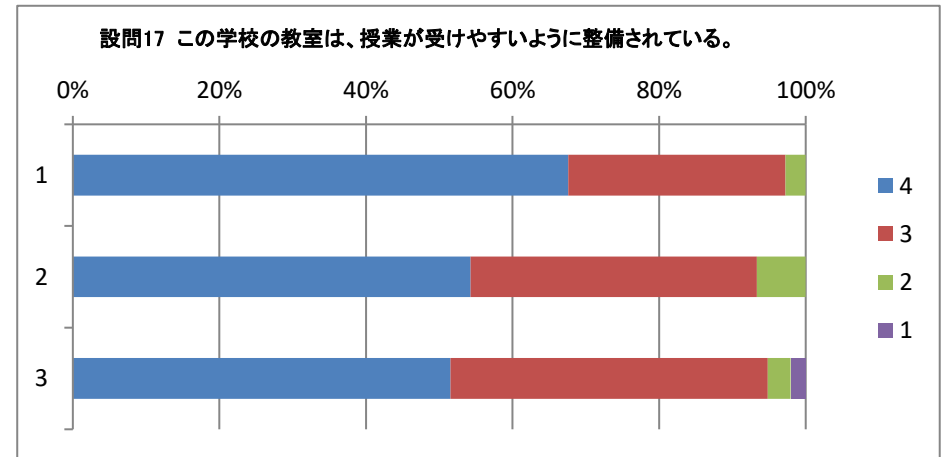
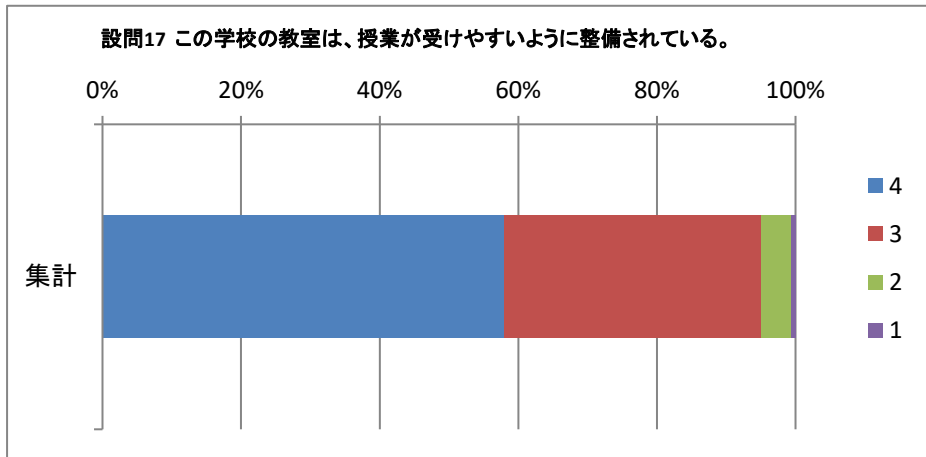
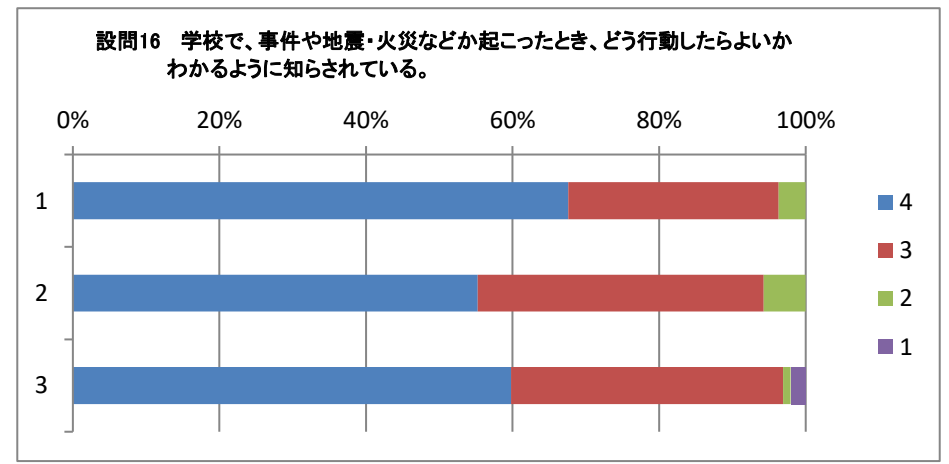
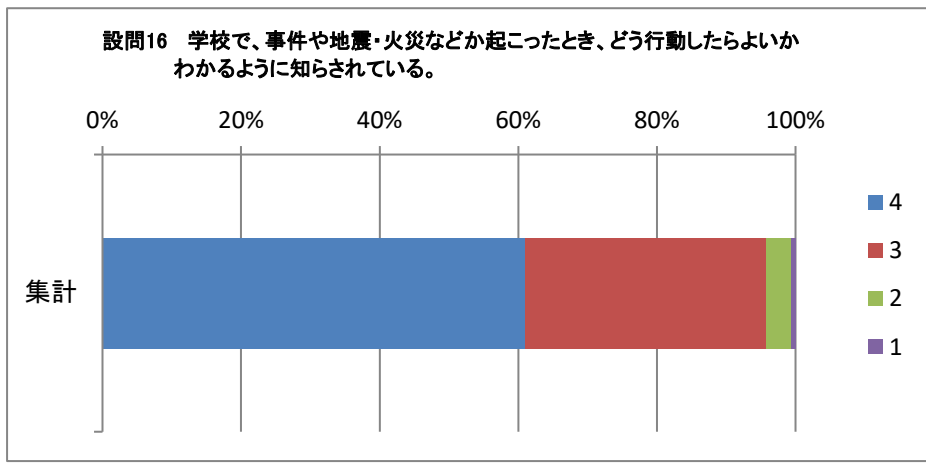
全体集計

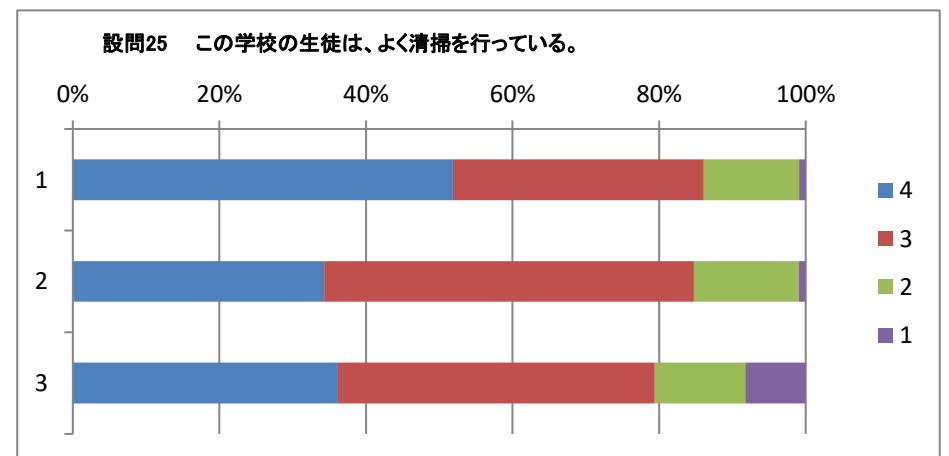
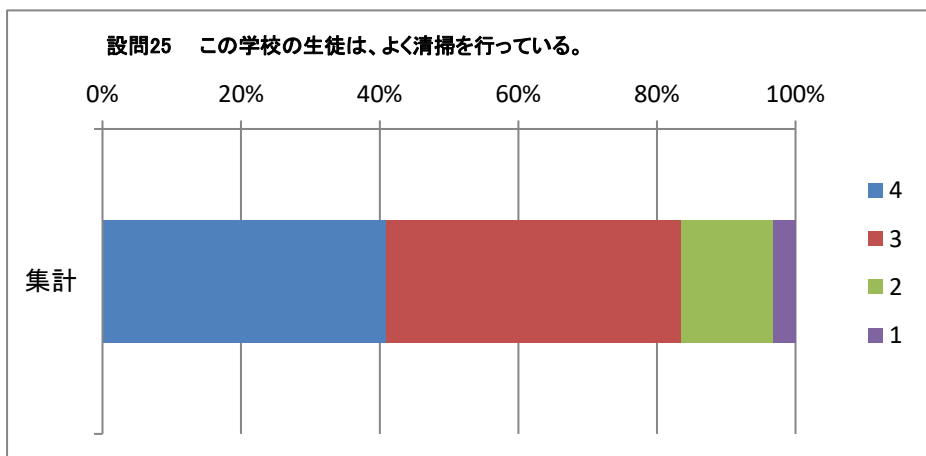
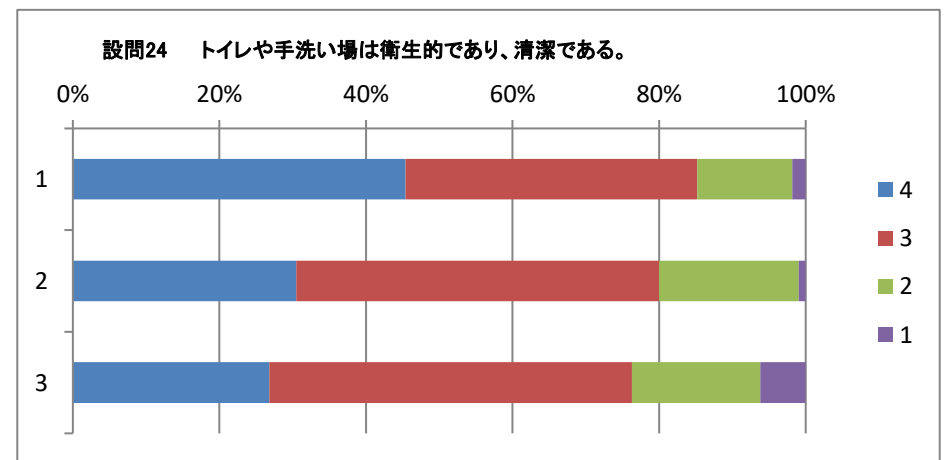
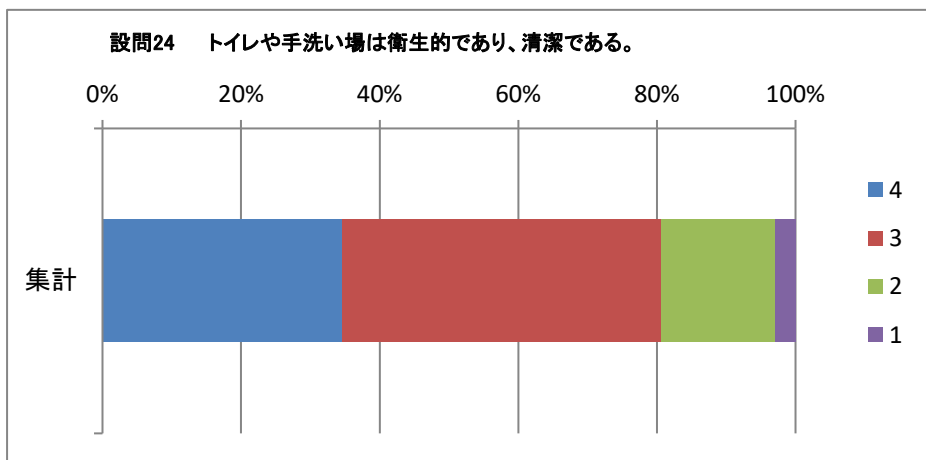
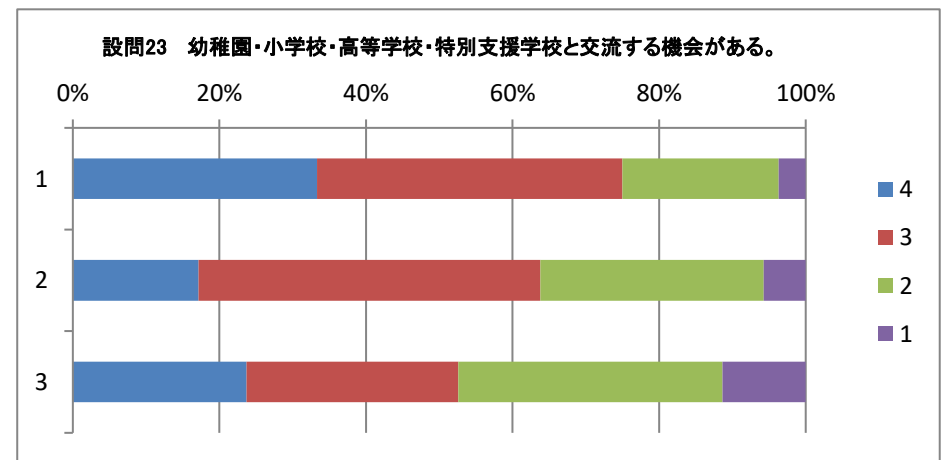
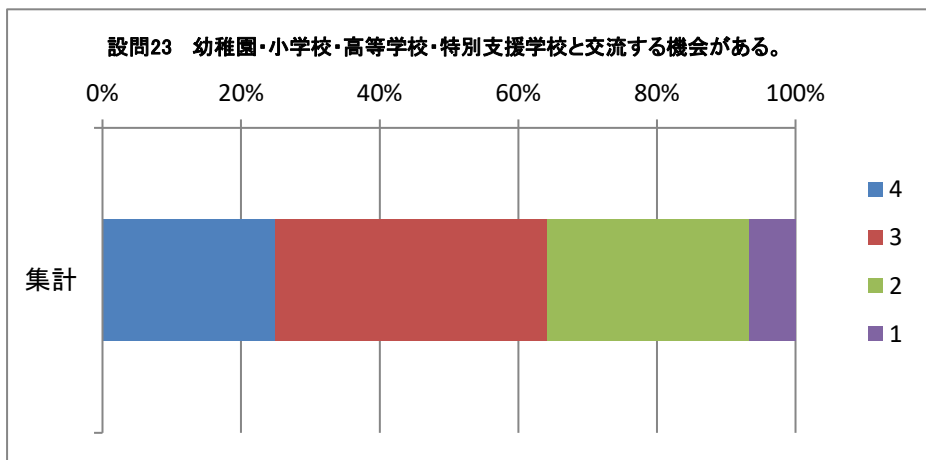
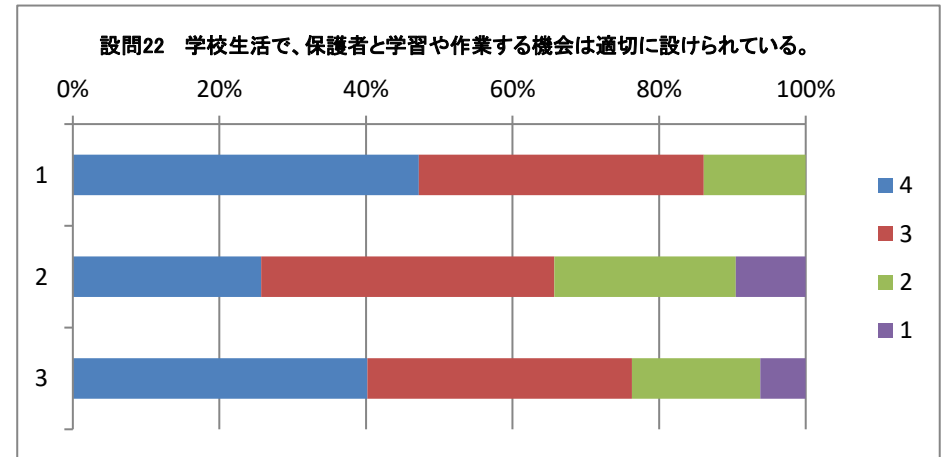
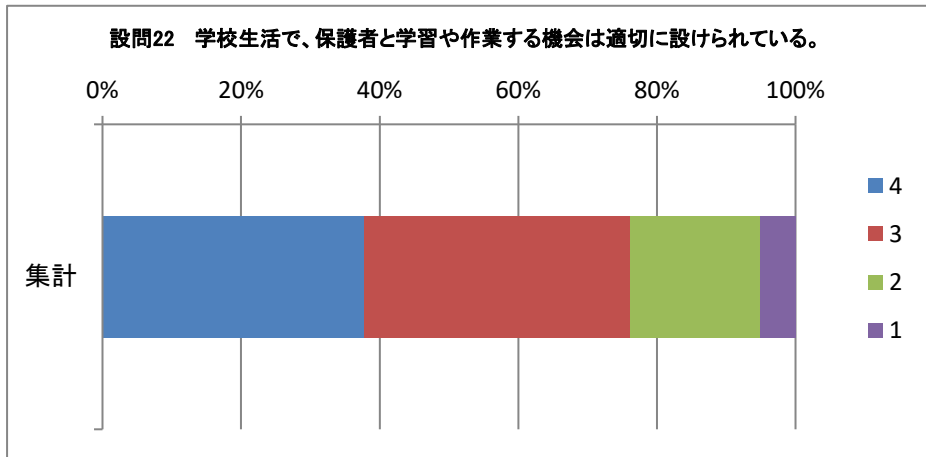
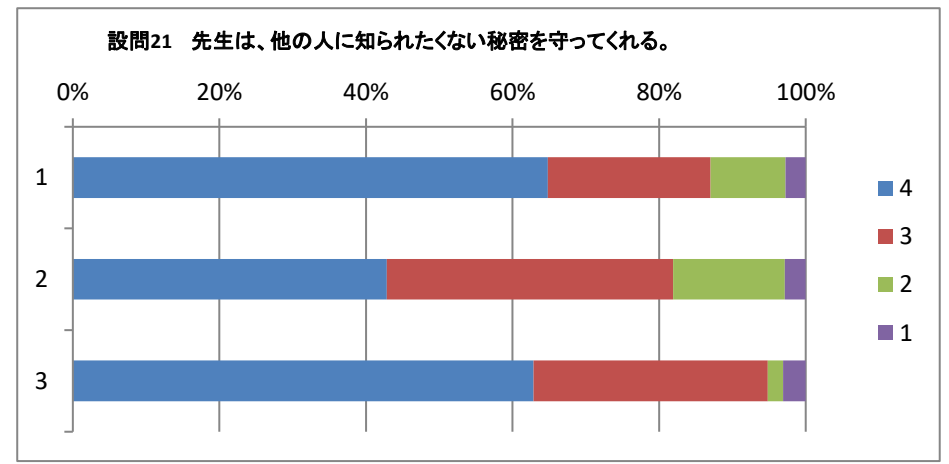
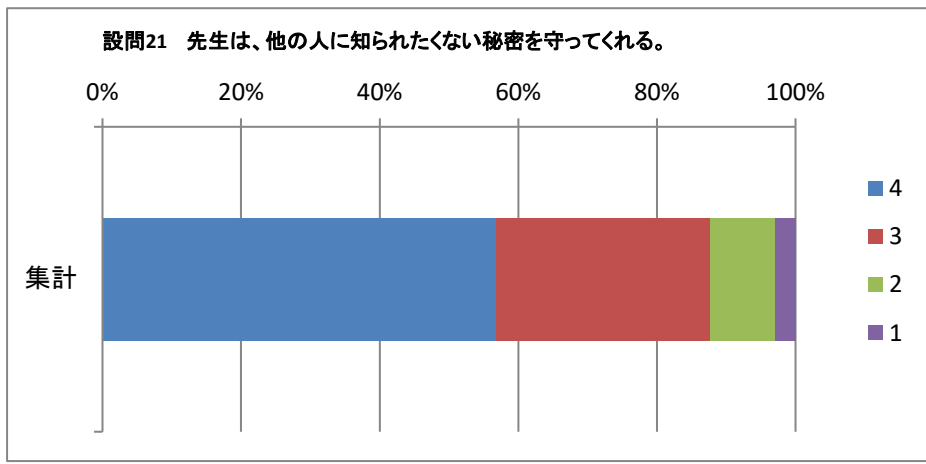
学年別集計











こころとからだのアンケート結果

